

マサノ沢遺跡

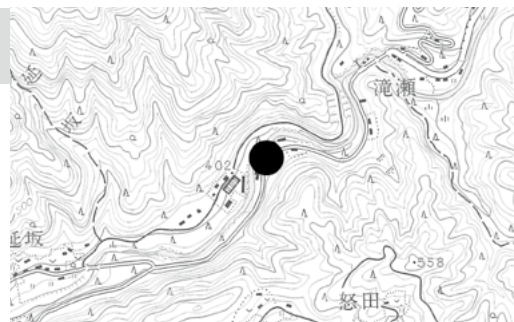
所在地 設楽町大字小松字マサノサワ
(北緯35度7分4秒 東経137度34分35秒)

調査理由 設楽ダム

調査期間 平成28年5月～7月

調査面積 364㎡

担当者 酒井俊彦・鈴木恵介



調査地点(1/2.5万「田口」)

調査の経過 調査は国土交通省による設楽ダム建設事業関連埋蔵文化財範囲確認調査として、愛知県教育委員会を通じた委託を受けて平成28年5月から7月にかけて実施した。調査対象地の現況は段状に造成された水田跡と山林である。

立地と環境 遺跡は、小松地区の境川左岸(東岸)に位置する。境川はこれより上流では西にむかい、調査地周辺で南に大きく流れを変えている。調査地は北西に向いた斜面および北西方向に突き出た河岸段丘上に位置している。現地形は県道10号線の西側が河岸段丘に造成された水田跡、東側が丘陵裾部の山林となっており、西側の水田跡は大きく分けて4段に造成されていた。県道東側では道路に近い部分は茶畑として利用されている。

調査の概要 県道10号線より西側の河岸段丘上では、低位の建物等跡(標高400m以下)では削平を受けたためか、TT133からTT135付近では、現地表の0.3～0.5mほど下で河川堆積の基盤層に到達する。TT61からTT82にいたる建物跡地の縁辺部では基盤層はTT133等よりも標高は下るが、より厚く埋め立てられている様子が伺える。これらのトレンチでは表土から遺物は採取できるものの、中位の段丘と同様の包含層の存在は認められず、TT70にいたっては表土下1.8mに至っても現代のゴミを含む土によって盛土を行った様子が見られる。後述の1948年頃からの開墾を始めとして、この付近では造成が繰り返し行われていたことが推定される。

同じ河岸段丘中の中位(標高400～402m)から高位(標高405m付近)では石囲炉をはじめとする遺構、原位置を保っていると思われる包含層(遺構埋土の可能性あり)が層位中で確認できた。例としてTT16やTT38の写真を掲載しているが遺物出土量も多い。ここで確認された包含層の標高は400m～405m付近に位置しており、東側では現況の県道10号線の下に連続している可能性が高い。この包含層よりも上層は耕作土や床土として攪乱されている場合が多く見られ、この上層部分で断面中に遺構が確認されたことは無かったが多くの遺物が検出される。

県道東側については、道路際が茶畑として利用されていた。TT83～TT95を配置した茶畑跡については、表土にわずかな遺物を検出するにとどまり、表土直下が基盤層であることが多い。基盤層も土石流によるため、県道西側の基盤層である河川堆積や粘性の強い基盤層とは異なる。茶畑部分よりさらに東側は植林された山林でTT96～TT132までを配置したが、こちらの層位も基盤層は土石流によるものが多く、表土である腐植土がその上に堆積している状況である。遺物は表土よりわずかに検出されている。

調査範囲内で確認された遺構は、前述の石囲炉がTT35で検出され、炉周辺の検出面で縄文時代後期の土器が複数検出されたことから竪穴建物に伴う石囲炉と考えられる。他にはTT34では土坑、TT23、TT36、TT39、TT41ではトレンチ内底面すべてが遺構内に位置し

ていると考えられる。これらはすべて検出状態のまま埋め戻している。遺構や遺物が多く検出された範囲については図に示した。

確認された遺物は、出土土器については縄文時代後期～晩期が主体となっており、中には中期初頭まで遡るものがみられる。古代の遺物は灰釉陶器がTT74で出土している。範囲確認調査の性格上、明らかな遺構については完掘していないため、これより古い時期の遺構や遺物が下層において発見される可能性は残っている。

石器は、白色風化石材と呼ばれる安山岩系石材が最も多く、次いで破断面が橙色をしめす安山岩も多数見られる。下呂石、黒曜石も数点確認された。確認された石器は剥片や破断した礫状態のものが多いが、TT16 (写真) の下層では磨製石斧が集中するなど特徴的な出土状況を示すものもある。

県道10号線の東側の状況については、愛知県教育委員会 2007『設楽ダム関連遺跡総合事前調査 詳細遺跡分布調査報告書』でも県道の東側を拡張する際の試掘調査で「耕作土の直下が地山となっており、明確な遺構・遺物包含層は認められなかった」とあり、TT83以降、TT132までの調査結果はこれと同様である。また、「昭和23年から昭和24年開墾の際に(以下略)」とあり、開墾によって地形が改変されていることが示唆されている。1948年撮影の国土地理院所蔵空撮写真「USA-M1097-A-26」でもマサノ沢遺跡南東側の尾根頂部より北西側はすべて木が伐採された状態が見え、この時期に削平を受けた可能性が考えられる。

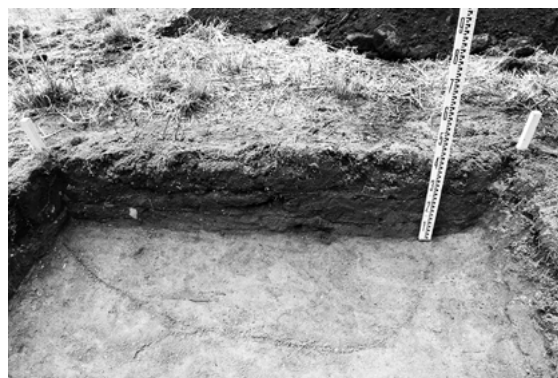
(鈴木恵介)



マサノ沢遺跡調査範囲 (S=1/2000)



TT135 表土下には河川堆積



TT15 遺構検出状況



TT16 断面状況



TT16 最下層出土石器・石材



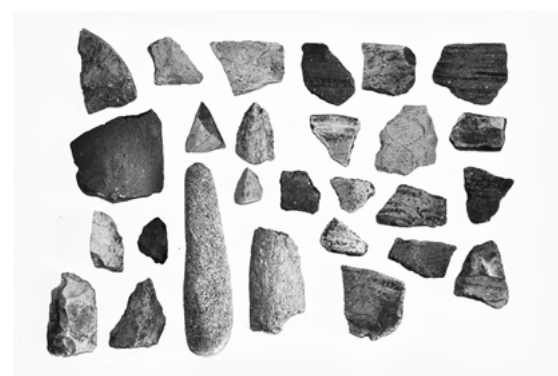
TT35 石囲炉検出状況



TT35 出土遺物



TT38 断面状況



TT38 出土遺物 中央下が石棒破片